

【奨励賞】

「北方領土問題について」

根室市立歯舞小中学校

3年 清水 空

「歯舞？歯舞ってあの四島の中の志発とかがある所から来たのかい？」

私は、今年地元PR活動中に会った男性にこのような言葉をかけられました。

北方領土問題は解決していないのだから、日本人が四島から来られるわけがないのと思う反面、北方領土の中の島の名前、しかもそれほど有名でもない島を知っているのに、なぜ北方領土問題の現状を知らないのだろうと疑問に思いました。

その時は地図を使って説明しましたが、世の中には島の名前すら知らない人もいるかもしれないのです。いえ、知らない人の方が多いでしょう。

では、どのようにすると、もっと多くの人に北方領土問題を知ってもらえるでしょうか。

例としては、元島民による活動や学校での学習、SNSを通してのPRと様々な意見があるでしょう。

しかし、私はまず解決に向けてどのようにすると良いかを考える過程の方が、解決策よりも大切だと思います。解決策を考えることから、一人ひとりの意識を変えていくことが北方領土問題を解決に導くための大きなカギとなるのではないのでしょうか。

「別に私には関係ない。」

「よくわからないから、やりたい人だけでやればいい。」

そんな投げやりで、マイナスな考えを変えていくことは、北方領土問題に限らず、今この国が抱えている国民全員が考えなければならない問題を良い方向へ向かわせ、より良い日本にしていくために必要なことだと思います。